

# 令和7年度 事業報告

## 1. 市政と地域住民との連絡調整

令和7年度の各自治会（町内会）からの要望事項に対する回答書につきまして、各回答に地域長コメントを入れ、当該自治会（町内会）に配付いたしました。

主な実施事項は、京都府南土木事務所による、井関川の新天神橋から山松川合流地点までの雑木、雑草の除去作業、特に合流地点における土砂の大量除去作業により、見違えるほどきれいになりました。あらためて、関係者に御礼申し上げます。

令和8年度は、さくら祭り開催で多くの木津川市民が見学に来られる、ふれあい広場に隣接する山松川、鹿川の雑木の除去の要望書を提出しています。

防犯カメラの設置も、五丁目、川原町へ設置されました。防犯灯は西町、川原町へ設置されました。その他、令和7年度府民協働型インフラ保全事業の審査結果では、いずれも不採択となりました。市道木335号の夜間帯の速度規制の実施について、振動や騒音については、路面の状態等に問題があると思われることから、夜間における最高速度引下げの必要性は低いとの判断をされました。（令和8年度は関連する地域により同様の要望書を提出いたしました）市道木93号（井関川堤防）の一方通行要望は、自動車の交通量は僅少との判断で不採択。同様に、市道木93号・103号交差点の横断歩道、一時停止線の設置要望も、交通量が少なく、必要性は低いと判断されました。市道木119号・221号交差点の一時停止線もカーブミラーが設置されているため必要性が低いとの判断。市道木188号・118号交差点は、T字路交差点で、道路の優先関係が明らかで、一時停止規制の必要性は低いとの判断。市道木103号・115号交差点（五差路交差点）での一時停止規制の実施要望は、道路の交通量が少なく、一時停止線の必要性は低いとの判断。（実際の交通量は朝夕多いため、再度の要望提出）市道木92号・216号交差点での一時停止規制の実施要望は東西道路の交通量が僅少で、交差点の見とおしについても、カーブミラーにて補完措置が取られているため、一時停止規制の必要性は低いとの判断。以上いずれも不採択となりました。

令和8年度の各自治会（町内会）からの要望事項（53項目）はすでに2月中旬に提出いたしました。木津町区としての生活道路の安全対策は、今後も繰り返し要望いたします。

また、木津川市、木津警察署や社会福祉協議会、そして木津町区等からの自主防災会の取組も含めた連絡についても、各種会議等により情報を共有するとともに、回覧にて自治会（町内会）へ配付すると同時に、木津町区HPにも掲載いたしました。



木津町区通常総会



木津町区合同会議



井関川土砂除去

## 2. 防災・減災に向けた取組

### 【木津川市防災フェア】

令和7年4月5日（土）中央体育館南側駐車場において、木津川市危機管理課により、防災フェアが開催されました。地震等の災害に関する啓発活動を行い、市民の防災意識の向上を図る目的での実施、約900人の来場者がありました。

VR体験、起震車体験、水消火器体験、野外炊具、備蓄品、消防車両等。

### 【木津川市地域防災士リーダー研修会】

4月20日、市役所会議室において、危機管理課主催の研修会が行われ、入田章平氏講師による、マイタイムライン作成講習会が実施されました。

防災情報を「知り」、避難行動課題に「気づく」行動を「考える」ことから、基本。

マイタイムライン普及のため、地域防災リーダーで、作成講習会を受講した方をマイタイムライン支援員として認定する制度が策定されました。

なお、8月27日「旧木津町の防災士リーダーグループ有志による、防災意識の積み重ねを通じて、地域防災リーダーとして、地域社会の一助となることを目的とする」連絡会が発足いたしました。（入田章平会長）



### 【防犯防災総合展】

令和7年4月17日インテックス大阪にて開催のセミナーに参加いたしました。

セミナー演題「個別避難計画の作成で考えられる課題」の抜粋報告。

#### 1. 災害から高齢者等の犠牲を減らす視点を見直す。

助けてもらう計画ではなく、助かるための計画である。（要支援者が何をしてほしいか）

#### 2. 地域の避難訓練に、要支援者も参加させる。

具体的な支援内容や配慮が理解できて個別避難計画につながる。

#### 3. 民生児童委員、福祉専門職等により、要支援者の支援内容を個別に把握する。

#### 4. 避難所の受け入れ環境を充実。

#### 5. 在宅避難者への支援を考える。

避難できない、避難しない要支援者の対応を考える。（家族の対応が必要）

地域の避難訓練に要支援者とその家族が参加することで支援内容を共有できる。

木津町区としても、各自治会、町内会単位での避難訓練を、要支援者も含めて実施する方向で進めていきたいと思っております。

## 【自主防災大会】

令和7年8月3日木津町区自主防災大会が猛暑の中、中央交流会館多目的ホール、屋外グラウンドにて開催いたしましたところ、役員含めて110名と多くの区民、他地域の自主防災会の皆様、防災士リーダーの皆様がご参加、また木津川市長谷口雄一様のご参加もいただき、おかげさまで、盛会のうちに遂行することができました。

防災大会内容として、まず、木津川市防災士リーダー駒井幸夫氏、木津川市長直轄組織危機管理課家元史彰氏による講演をいただきました。

講演内容は、木津町区の内水氾濫リスクについての講演と、木津川市の新しい総合防災マップによる、風水害、震災時の活用方法についての説明をいただきました。

危機管理課ご指導による防災資材の組み立て作業を行い、情報班による、段ボールベッドの組み立て、消火衛生班による簡易トイレの組み立て、救出救護班には屋外広場にて、簡易テントの組み立て、発電機による照明資材、高圧洗浄機、道具セット、車椅子等の展示を行っていただきました。給食給水班には、飲料水コーナー、調理室での民生児童委員と一緒にカレーライスの炊き出しを行っていただきました。

相楽中部消防組合消防本部による訓練は、室内において、徒手搬送、AEDの取り扱い、火災時、煙から逃れる訓練、室外においては、消火器の取り扱い及び消防車両の展示（子供用消防服着用による写真撮影が好評でした）を行っていただきました。

今年度新たに、VRゴーグルによる災害体験コーナーを設けました。州見台自主防災会様のご協力により、VR操作訓練を行っていただきました。

また、ホームセンターコーナン木津店様のご協力による防災用品の展示も行っていました。最後にビンゴゲームを行い、共催頂きました社会福祉協議会木津町区 奈良支部長の閉会の挨拶にて、本大会が無事に終了いたしました。

今回の大会により、木津町区民の皆様の防災意識がさらに高まり、災害時、木津町区民全員が取り残されないようにしていきたいと思えます。





### 【マイタイムラインワークショップ】

令和7年9月21日 木津町区自主防災会、社会福祉協議会木津町区支部共催にて、マイタイムラインワークショップを開催いたしました。

12の町内会、自治会より、21名の防災委員の参加、またオブザーバーとして、市役所危機管理課より、石津さん、家元さん、木村さん、社会福祉協議会木津支所より、関さん、石川さんの参加を得、5テーブルに分かれて、「逃げキッド」によるマイタイムラインの図上講習会を行いました。

防災士駒井リーダーによる、マイタイムライン作成プロログ、防災士反田リーダーによる、資料「逃げキッド」によるマイタイムライン記入説明により、各自の家庭環境に応じてのマイタイムラインを作成して頂きました。

オブザーバーによる、作成助言を得て、各々の立場での避難計画を作成していただきました。個人として、すでに災害時の備えをされている方、個人のみならず、町内会自治会全体の避難を見据えての行動を考えておられる方等、それぞれの立場での避難計画、いずれも大いに参考となるマイタイムラインの避難計画の検討会でした。

最後に木津川市危機管理課、木津川市社会福祉協議会木津支所より、災害時の取り組みについてのご意見をいただきました。今回のワークショップが、木津町地域の安心と安全につながるよう、台風等の豪雨災害による被害を最小限に食い止めるためにも、空振りでもいいから、早め早めの避難行動をとるようにしていただければ、今回のワークショップの意義があるのではないのでしょうか。



### 【自主防災研修】

令和7年11月9日(日) あいにくの雨の中、65名の参加者が、バス2台に分かれて乗車、本日の目的地まで出発いたしました。

今回の研修場所は、堺市総合防災センターで、120分コースの研修でした。

全員での映像による災害学習。国内で発生している災害を振り返りました。

次に、応急救護学習、突然の心停止で倒れた人の蘇生方法、胸骨圧迫訓練、AED操作の説明を受けました。

また、煙中・暗闇の中での避難姿勢を学び、誘導灯の有無で避難のしやすさを学びました。また、初期消火体験、地震体験、直下型（阪神淡路大震災）、海溝型（東日本大震災）、熊本地震、関東大震災の震度の体験（手すりをもっていないと倒れそうになる）を行いました。最後に防災情報コーナーにて、地震・津波、大雨・洪水、土砂災害、台風、高潮、雷・竜巻等の災害について、災害の概要を学び、全員に修了証書をいただきました。

今回の防災研修により、木津町区皆様方の日頃の防災意識が少しでも高まれば幸いかと存じます。



#### 【木津町区木津南ガーデンタウン自治会による避難訓練】

令和7年11月15日（土）昨年度に引き続き、相楽中部消防組合消防本部の方々のご指導のもと、水消火器を使った初期消火訓練、視界不良を想定した避難訓練、AEDを使った救護訓練を実施。多くの自治会員の参加のもと、積極的に体験され、有意義な訓練をされました。今後、木津南ガーデン自治会のように、各自治会（町内会）単位での、避難訓練等の実施の検討をお願いいたします。このような訓練の積み重ねが、身近な災害への備えとなると思います。

### 【木津川市避難訓練】

令和7年11月16日（日）木津川市主催の避難訓練が各避難場所にて行われました。

訓練アナウンスがあり、近くの避難所への移動後、防災資機材を用いての、組立訓練等が行われました。避難場所のひとつの木津小学校体育館では、防災士リーダーによる、簡易ベッド、簡易トイレ、簡易テント、簡易担架の組み立て訓練を実施いたしました。

多くの区民が積極的に参加していただき、有意義な訓練となりました。



### 【南山城水害に関するフォーラムに参加して-京都府立南陽高等学校自然科学部より-】

南山城水害から70年を超え、災害の記憶を後世に伝えるためのフォーラム。

木津川上流部（特に三重県伊賀市周辺など）の山地は、主として花崗岩や泥質岩で構成されており、花崗岩は風化しやすい特性を持っています。この花崗岩が風化して多量の土砂が流出し、河床上昇（天井川）を引き起こす要因となっています。

南山城水害は停滞前線の影響で大量の雨が降ったうえ崩れやすい山々のため土砂災害が多発し、特に降雨量の多い上流地域から流れている山城地域の天井川において決壊が多発して甚大な被害をおこしました。私達の住む地域においても井関川、鹿川の天井川があり、ハザードマップに反映させているか再検証する必要があると感じました。

防災士リーダー 駒井木津町区相談役より



## 【防災訓練】

木津町区今年度最後の行事として、令和8年3月22日防災訓練を実施いたしましたところ、各自治会町内会の防災委員50名、役員7名合計57名と多くの参加を得ることができました。昨年からは、防災ヘルメットは衛生上、新規の防災委員に譲渡することとなりました。

まず、反田防災部長による、防災倉庫内の資機材の点検を兼ねた個々の資機材の説明と、各自治会町内会での溝掃除等での資機材貸し出しを積極的に勧めました。

続いて、木津川市消防団木津第2分団第1部の団員の皆様方による消火栓の取り扱い手順の説明をいただきました。

ホース格納箱の内容確認と、消火栓をマンホール内の水道栓とつなぎ、ホースから放水の模擬訓練（実際の放水はありません）を実施し、防災委員自ら、消火栓設置、ホースの装着訓練を行っていただき、有意義な訓練となりました。

今回の訓練にて、各自治会町内会における、ホース格納箱及び消火器の設置場所の把握により、火災発生時の初期消火に役立てていただけるものと思います。



## 【火災報知器・消火器設置】

木津町区自主防災会としても、高齢者や障がい者の日常生活の安全を守るため、また財産の損失を防ぐことを目的に、数年前から住宅用火災報知器未設置先世帯に対して、設置支援を行っています。今年度は、12世帯からの要望先に対して、各世帯2台ずつ支援を行いました。同時に各自治会（町内会）単位での「消火器」設置も同時に行いました。

「消火器」は、初期消火に欠かせない器具です。戸建て住宅に設置義務はございませんが、用心のため、各家庭での設置を、お勧めいたします。



### 3. 安全で犯罪が勃発しない地域を目指して

木津町区域内の道路は狭く、車両の交互通行不能区間、屈曲した見通しの悪い個所が数多くあります。区域内道路は生活道路であり、さらには通過交通車両も含めて、安全速度での運転を啓発するなどの措置が講じられる対策の要望を、継続して提出していきます。

令和7年度木津川市における特殊詐欺被害の総額が1億円を超えています。木津町区の皆様におかれまして、被害防止対策を講じていただきますよう、お願いいたします。

木津町区内においては、定期的に、地域の犯罪抑止機能を高めるため、防犯パトロール、学童の登下校時の見守り等を実施しています。今後も継続して実施することで、安心、安全な暮らしやすい木津町区を目指していきます。

#### 【防犯パトロール】

木津町区防犯パトロール隊キックオフを、令和7年4月5日木津川市中央交流会館にて行いました。隊員の皆様に対して、安心・安全な木津町区づくりに貢献されている事に感謝するとともに、今後共継続して防犯パトロールを行い、安心、安全な木津町区づくりに貢献していただくことを確認いたしました。(円卓雑談笑の会ーサロンー)



#### 【木津防犯推進委員協議会木津支部】

入田支部長のご協力により、令和7年度の防犯啓発横断幕が2個所に設置されました。表記は、「防犯は、地域みんなのこころがけ」です。

令和7年6月19日には、一心堂様のご協力にて、駐車場の柵に設置いたしました。

木津町区において、令和8年1月15日には、サラダ館木津店のご協力にて、瓦谷児童公園の柵に設置していただきました。いずれも、小学生の登校集合場所でもあり、安心、安全を再度見直し、防犯啓発活動の新たな意気込みを感じられたセレモニーでした。また、委員数名により、定期的に学童登校時の見守りを、行っていただいております。



#### 4. 地域住民と情報の共有化

5月11日(日)に令和7年度木津町区通常総会を木津川市井上透副市長、福井健二木津町区水利組合長ご臨席のもと、開催することができました、定期的実施している各種会議、総会冊子や回覧の配付、それに加え比較的タイムリーな情報を提供できる木津町区 HP への掲載を行い、情報の提供や共有化を図りました。

「木津町区 HP『LINE でのお知らせ配信』について」  
携帯等で木津町区 HP にアクセスし、画面右サイドの「LINE 通知」ボタンから友だち登録していただくと、HP 更新時、LINE のトークでお知らせ通知が届きます。  
ぜひ、ご活用ください。

(HP <https://木津町区.jp>)



#### 5. 地域住民との交流

##### 【令和7年度木津御神輿太鼓祭り】

今年度も、御神輿太鼓祭りが10月25日、26日開催されました。25日は、御霊神社に敬神組、拝神團の御神輿が奉納され、また、26日は、田中神社に西町の御神輿と木津幼稚園児による子供神輿が奉納され、岡田國神社には義友会（5丁目、三桝町）、社町の御神輿が奉納されました。伝統ある、木津のお祭り、今後共廃れることなく、引き続き大切な郷土文化財として、市社会教育課の協力をお願いいたします。



##### 【木津川市社会福祉協議会主な行事】

###### 1. 「第10回木津川市福祉大会」

令和7年10月11日(土) アスパアやましろにおいて開催されました。

地域社会の一員として自らの役割を改めて認識し、福祉サービスのさらなる充実を図るとともに、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、人と人がつながり、支え合うネットワークの構築に取り組むことを決議されました。

###### 2. 「きづがわ福祉フェスティバル」福祉大会と同時に開催。

わくわく体験、屋内ステージ、ふれあいグルメ、屋外ステージ等にてイベント開催。多くの市民がご来場されました。

### 3. 「認知症高齢者等見守り訓練 IN 木津町区」

11月22日（土）木津川市市役所近辺での見守り訓練が実施されました。

木津町区の住民の5人に1人が高齢者の時代となりました。

まず認知症を知ることから始め、実際に認知症らしき人に対しての声掛け（かなり勇気のある行動）、とりあえず声をかけることの重要性を学ぶ体験。相手の立場にたったの聞き取りの重要性を学びました。

### 4. 「小地域高齢者交流会（木津町区支部）」

11月15日（土）地域の高齢者の親睦会を実施いたしました。14名の参加者により、八尾グランドホテルでの昼食会、温泉入浴、観劇等を行い、参加者の親睦を深めることができました。



### 5. 「ふれあいスポーツ交流会（木津町区支部）」

11月20日（木）木津川市ふれあい健康グランドにおいて、グランドゴルフ大会を実施しました。参加者は15名、好天に恵まれ楽しくプレーができました。

12月7日（日）中央交流会館において、公式ワナゲ大会を24名の参加者にて楽しく、にぎやかにプレーを楽しむことができました。

いずれも高齢者のふれあい、親睦に十分寄与した交流会でした。



## 6. 「地域支え合いフォーラム」

令和8年3月7日（土）加茂文化センターあじさいホールにおいて開催。木津川市として、令和8年度から重層的支援体制整備事業がスタート。

龍谷大学特任教授山口浩次氏による、基調講演「気づき・つながり・支え合い—重層的支援が育む地域の力—」に引き続き、各支部よりの実践報告。

「木津川とともに生きる～木津小学校区における防災活動～」

本町西支部長 白谷紀久雄氏

木津小学校における防災学習、小学生が作った防災ラボは、地域住民にもわかりやすく、新たな発見も多数散見されました。また、要支援者と実際に避難訓練を行った時の問題点についての説明。

「健康すごろくで介護予防～地域住民×商店×リハビリ専門職から」

加茂支え合い会議委員長中津信彦氏

「コミバス活用、みんなで買い物に出かけよう～交通課題へのチャレンジ～」

山城支え合い会議お出かけ班 松本雅彦氏

「移動支援から見える身近な地域の関係作り」木津西部支え合い会議委員長三村敏雄氏

いずれの報告も、地域で取り組みやすい事業の実践報告で、大いに参考になりました。

## 6. その他

### 【木津川市木津消防団出初式】

令和8年1月11日州見台小学校にて、木津川市消防団の出初式が行われました。

寒風が吹き荒れるも、時折、太陽の日差しも感じられる中、岩井団長以下、太田総指揮官の号令により、一糸乱れぬ規律正しい分団行進、車両行進、放水演習と、日頃の訓練成果が見事に発揮された出初式でした。

我々の木津町地域管轄の消防団は、第2分団第1部で、団員の皆様には、日頃から、防災訓練等木津町地域の防災活動に、ご尽力いただいております。

町内会、自治会内において、万が一、出火があれば、いち早く駆けつけてくれるのが、消防団です。

これからも、消防団の活動に、木津町地域の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。



(木津川市提供)



(木津川市提供)



### 【相楽中部消防組合消防本部】

令和8年3月15日（日）新消防本部庁舎竣工内覧会が行われました。

京都府南部の消防防災の拠点となる新消防本部庁舎の完成です。

地域の安心・安全を守る拠点として、災害に強い消防庁舎として整備されています。

また、地域住民の防災意識を高める庁舎として、各種防災訓練や体験型の学習機会を提供できる「身近に学べる場」として活用できる消防庁舎となっています。

自治会（町内会）単位での研修も可能と思われます。ぜひ、ご利用願います。



### 【木津町区財産処理委員会】

木津町区農業関係財産処理委員会として、用排水路改修事業（木津町地域田んぼダム事業基本設計業務）に対する、補助金額確定通知があり、3月16日交付されました。

令和8年度として、農業関係では、用排水路改修事業の継続（木津町地域田んぼダム事業基本設計に基づく第1号用排水路整備工事）としての申請をいたしました。

また、東山墓地財産処理委員会では、東山墓地内危険木等伐採工事を申請いたしました。

令和7年度木津町区財産処理委員会を10月5日開催いたしました。

昨年度同様、地域住民が、安心、安全な暮らしができるようにとの思いで、出された使途意見が、各委員の総意であり、その結果としての各々の使途要望があり、それが市の基金利用の考え方とのギャップが埋まらないのが現状と考えられます。

現状では、使途意見と市の考え方が常に平行線となり、基金利用までにはいたりません。

木津6区財産管理員会を通じて、基金利用の改善策を検討していきたいと思えます。

### 【木津川市交付金】

木津川市の補助金制度を活用して、令和7年度木津川市地域活動支援交付金の交付請求と令和7年度自主防災組織等活動助成金交付請求を行い、区会計と自主防災会会計に入金いたしました。